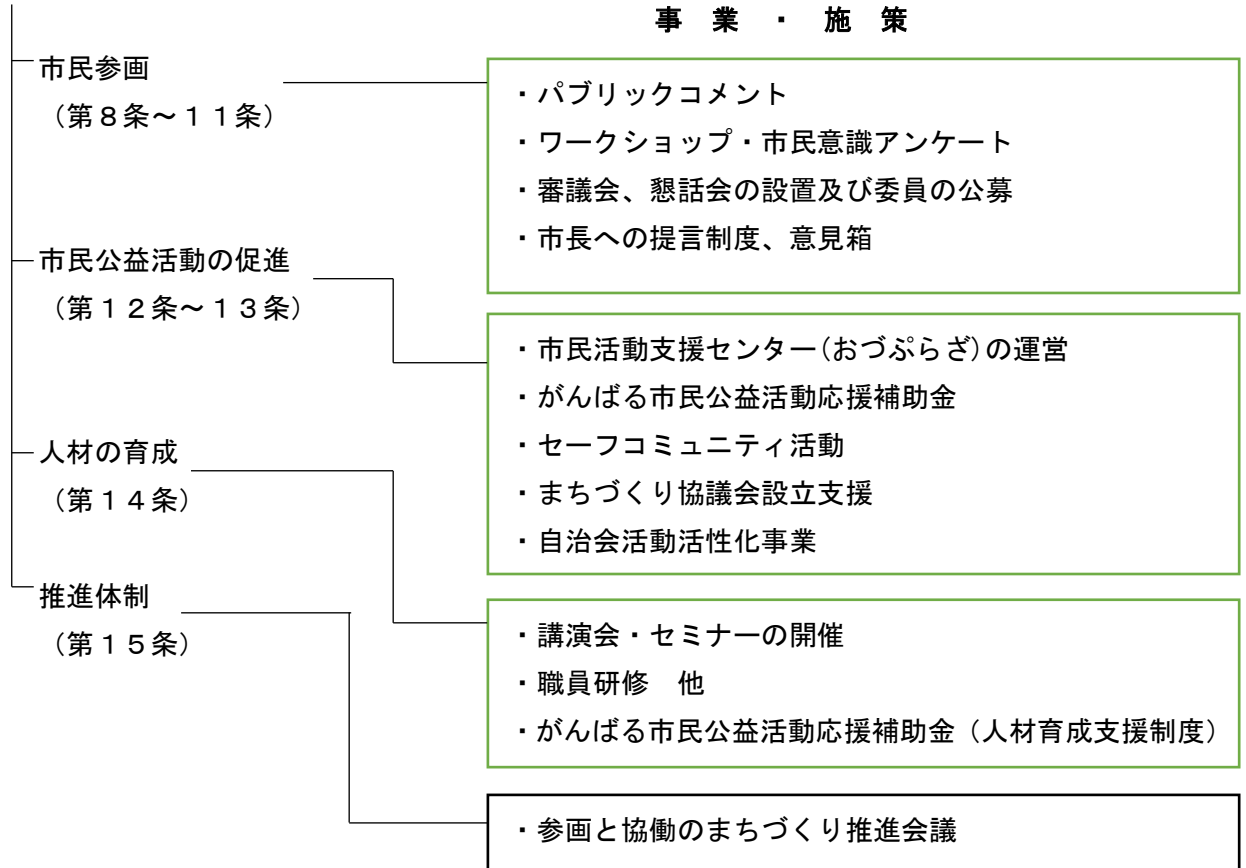


条例と事業・施策の関連

泉大津市参画及び協働の推進に関する条例

市の役割 (第7条)



泉大津市がんばろう基金条例

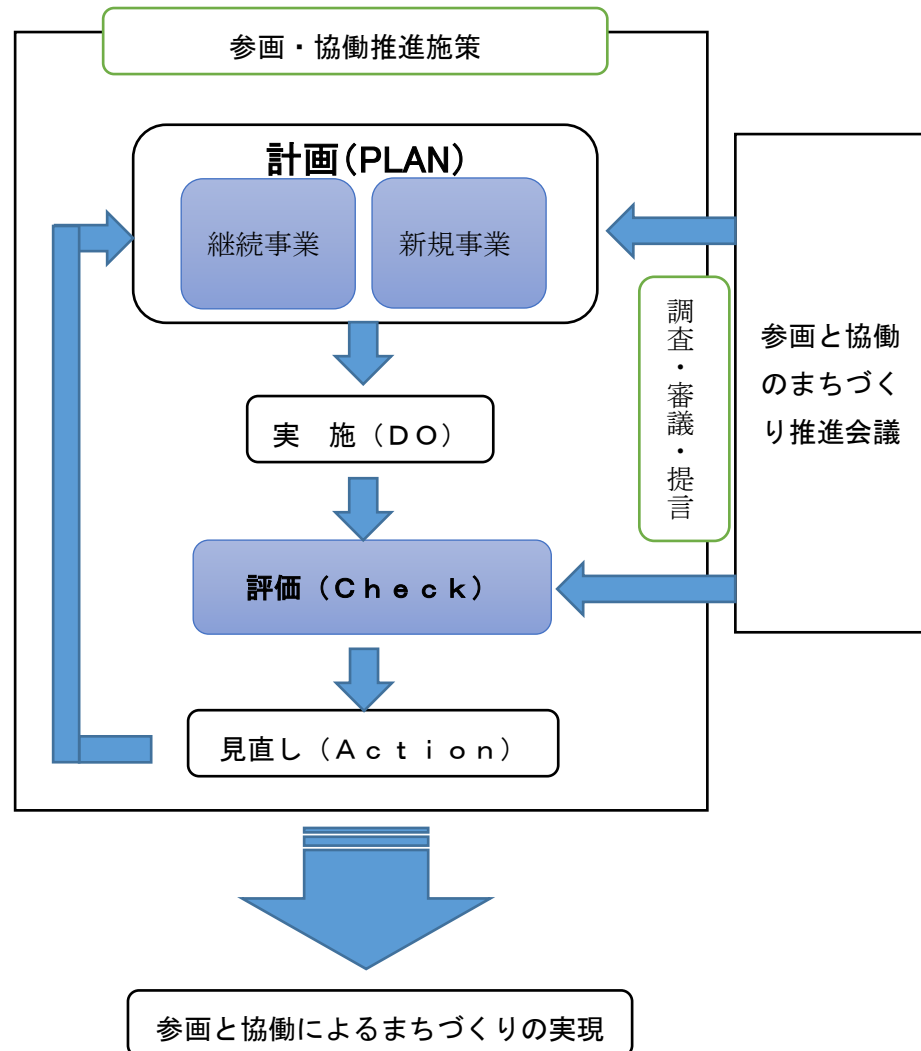
- ・泉大津市がんばろう基金の運用

参画と協働のまちづくり推進会議について

「泉大津市参画及び協働の推進に関する条例」第15条に基づき、参画と協働のまちづくりを推進するため、学識経験者、市民公益活動団体の代表、公募市民、各種団体等からなる推進会議を設置し、次の内容について調査、審議をする。また、その結果を市長に提言することができる。

(調査・審議する内容)

- 1、この条例の改正又は廃止に関すること
- 2、参画と協働のまちづくりの推進に関する取組状況に関すること
- 3、その他、参画と協働のまちづくりの推進に関すること



泉大津市第4次総合計画の2つの基本施策（抜粋）

基本施策	めざす姿
1「市民参画・協働」	<p>《市民が主体に活躍できるまち》</p> <p>市民の意見を市政に反映する場や機会が充実しており、市民と行政の信頼関係から生まれた協働の考え方のもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、まちづくりが行われています。また、様々なテーマで活動する市民活動団体がまちづくりの担い手として活躍しています。</p>
2「地域コミュニティ」	<p>《地域がつながり地域で課題解決できるまち》</p> <p>世代を超えた交流により、地域コミュニティが生まれ、程よい距離感で、顔見知りの関係が築かれています。地域活動のネットワーク化やリーダー育成などにより、身近にある課題を地域で解決できるまちとなっています。</p>

施策の展開方法	具体的な取組内容
<p>①市政への市民参画の推進</p> <p>市の計画や施策に市民の意見を反映させるため、市民が意見を述べる機会を充実します。</p>	<p>○パブリックコメントの実施等意見聴取機会の充実</p> <p>○計画づくりに関する審議会等への市民の参画機会の充実</p> <p>○市民参画についての意識啓発</p>
<p>②市民協働の推進</p> <p>市民が地域のために行う公益的・自主的な取組を支援し、市民と行政の協働を推進します。</p>	<p>○市民活動団体等が地域の課題を自主的に解消するための取組に対する支援</p> <p>○市民との協働によるイベントの実施</p> <p>○市民活動拠点の充実</p> <p>○市民活動団体の情報収集と発信</p> <p>○泉大津市がんばろう基金の運用</p>
<p>③地域コミュニティのネットワーク化の促進</p> <p>地域団体同士や各種団体のネットワーク化を促進します。</p>	<p>○地域団体とNPOや企業、大学などとの連携の推進</p> <p>○小学校区を単位とする地域協議会の組織化の推進</p>
<p>④地域コミュニティに対する意識の醸成と支援</p> <p>市民と職員が共に地域のつながりの大切さに対する認識を深めるための施策を推進するとともに、地域コミュニティの活性化に向けた支援を行います。</p>	<p>○市民・職員に対するセミナーや講演会等の開催</p> <p>○地域におけるリーダーの育成</p> <p>○自治会の加入促進などのコミュニティ活性化の取組に対する支援</p>

成果指標

基本施策	成果指標	単位	現状値	現状時点	目標値 H31年	目標値 H36年	アンケート設問及び 算出方法
1.力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり							
市民参画・協働	地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ市民の割合	%	51.8	H26年度	60	70	『地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
	市政への市民参画の機会が増えたと思ふ市民の割合	%	44.6	H26年度	55	60	『市政への市民参画の機会が増えたと思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
	市民活動団体として登録している団体数	団体	9	H26年度	50	100	市民活動団体登録制度への登録団体数
地域コミュニティ	地域の中で人のつながりがあると思ふ市民の割合	%	59.9	H26年度	65	75	『地域の中で人のつながりがあると思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
	地域活動の中心となるリーダーが育っていると思ふ市民の割合	%	35.9	H26年度	45	60	『地域活動の中心となるリーダーが育っていると思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合

市民参画（第8条～第11条）

▶パブリックコメントの実施（継続）

提出方法・・・郵送、ファックス、電子メール又は担当課に持参

周知方法・・・広報紙、ホームページ、フェイスブック及び市内各公共施設等に意見書募集箱を設置

【令和元年度実績】（※昨年度実績4件）

	計画・条例等名称	募集期間	提出人数	意見件数	担当課
1	第4次泉大津市総合計画後期基本計画（案）	10月1日 ～10月31日	3	8	政策推進課
2	第二期いずみおおつ子ども未来プラン（案）	12月3日 ～12月24日	17	13	子育て応援課
3	泉大津市地域防災計画（修正）（案）	12月10日 ～1月10日	1	10	危機管理課
4	泉大津市立地適正化計画（案）	12月19日 ～1月9日	1	1	都市づくり 政策課
5	いずみおおつ健康食育計画（案）	12月19日 ～1月9日	5	8	健康づくり課

▶市長への提言制度（継続）

【令和元年度実績】

- ・調査日程 令和元年6月1日（土）～14日（金）
※広報いずみおおつ6月号紙上に応募用紙を掲載
- ・対象 本市市民
- ・回収数 68通91件（※昨年実績83通、124件）

内 容	件数	
	R1	H30
市政全般について (企業誘致、災害時の対応、市のPR、市民サービスなど)	20	36
道路・歩道の整備・交通安全など (道路・歩道の整備、交通ルール、駐車禁止など)	17	14
環境について (ごみの回収、緑化・美化、受動喫煙など)	10	12

<u>高齢者福祉について</u> (ふれあいバス、高齢者ドライバーの自主返納など)	5	3
<u>学校・幼稚園・保育所・認定こども園について</u> (仲よし学級、学校教育、学校設備など)	9	16
<u>公園・プールについて</u> (公園遊具の整備、新しい公園の設置など)	7	3
<u>市の施設・設備について</u> (市役所、市民会館の跡地、図書館など)	10	24
<u>子どもの福祉、子育て環境について</u> (病児保育、子どもたちの遊ぶ環境など)	3	6
<u>市などのイベントについて</u>	2	3
<u>職員について</u> (市職員の対応、市職員の通勤経路など)	3	6
<u>市立病院について</u> (病院内の機材、指定管理など)	4	
<u>分類不可</u>	1	1
計	91	124

【年齢別】

年齢	件数	(※昨年)
10代	0	0
20代	0	1
30代	3	7
40代	6	8
50代	5	10
60代	7	6
70代	13	15
80代	6	0
90代	1	1
未記入	27	35
計	68	83

▶ 広報モニター制度 (継続)

「広報いずみおおつ」をはじめとする市の広報活動に市民の意見を取り入れ、よりわかりやすく、より充実した内容にするため、広報モニターを設置している。

■ 令和元年度登録者数 15名

【内訳】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	2	10	2	0	1	0	0	0	15
合計	0	2	10	2	0	1	0	0	0	15

会社員・自営業 4、主婦 6、その他(パート等) 5

■ 任期 令和元年6月1日～令和2年3月31日

■ モニターアンケートの実施方法について

- 毎月1回実施。
- 毎月5日ごろにアンケートを依頼。(郵送、メールのいずれか)
- その月の20日までに回答をもらう。(郵送、メール、ファックスのいずれか)
- 翌月の5日までに結果をまとめ、毎月、モニターにフィードバックするとともに、市ホームページにも掲載する。
- 常にアンケート結果を参考にし、できるものは、随時取り入れていく。

■ アンケート項目について

毎月

- 全体で興味を引いた記事について理由とともに聞く。
- 全体で読みづらい記事、分かりにくい記事があったか理由とともに聞く。
- 特集記事全般について意見を聞く。
- 特集記事の中で、意見を聞きたい記事をいくつか選び、内容がわかりやすかったかなど掘り下げて聞く。
- 連載記事や、コーナーについては、順番に選び意見を聞く。
- もっともよかった写真を聞く
- まちの話題については、写真や文章、レイアウトなどについて意見を聞く。
- そのほか、気づいた点や感想などを自由記述で聞く。

単発

- 広報紙以外の広報活動について意見を聞く。
- 特集記事や情報かわら版など、掘り下げて意見を聞く。
- 年度末は、取組についての評価をしてもらう。

■お礼 モニター登録者へは一人1,000円程度の品を進呈予定。

■これまでの成果

モニターアンケートで得られたご意見をもとに、見やすく、わかりやすい広報紙をめざし、その都度改善を加えている。

○情報の集約（子育て記事の「子育て広場」への集約。仕事、労働関係記事の集約など。）

○目次の掲載

○QRコードの活用。（ホームページへの誘導）

○アンケートで指摘を受けた見づらいつ所は、随時修正を加えている。

○広報紙で紹介した夏休み、冬休みのイベント記事を集約し、ホームページのトピックスで掲載

○文化フォーラムついていただいた意見を参考に講師依頼を行った。

○まちの話題のページをカラーに変更

○図書館だよりで紹介する本の冊数を3冊から6冊へ

○図書館だよりで紹介する絵本にルビをふる。

■今後について

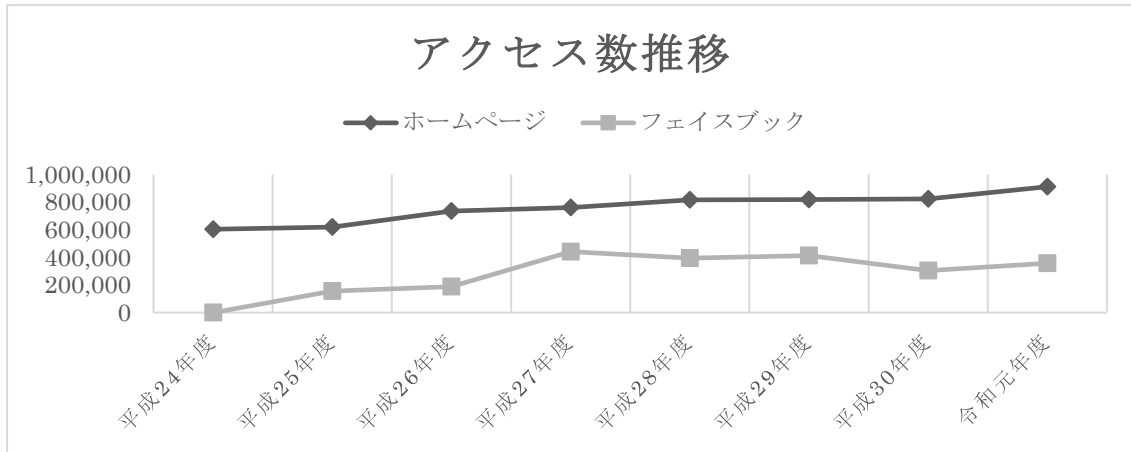
モニターのご意見が非常に役立っていることから、令和2年度も新たに広報モニターを募集し、同様に進めていく予定。

▶ホームページ・フェイスブック（継続）

ホームページは平成25年4月にリニューアルを実施し、また同時期にフェイスブックの開設も行った。フェイスブックについては、若干、アクセス数は減少傾向にあるが、ホームページアクセス数は増加している。

	ホームページ	フェイスブック	LINE(登録数)
平成24年度	603,762	—	—
平成25年度	618,514	156,486	—
平成26年度	736,211	188,581	—
平成27年度	759,574	441,349	—
平成28年度	816,725	395,060	—
平成29年度	818,128	413,049	—
平成30年度	967,948	356,454	—
令和元年度	911,383	309,536	3,270

(※令和元年度は4月から1月末まで)



▶市民出前講座（継続）

本市の施策や事業・制度などについて市職員が指定の場所に出向き、説明会を実施。

【令和元年度実績】※令和元年12月末時点

内 容	回数
消防訓練	76
救命実技	11
防災出前講座	17
ごみの減量・分別のための出前講座	25
幼児環境教育で COOL CHOICE	10
省エネ体験学習 学童保育で COOL CHOICE	16
模擬選挙	1
第4次泉大津市総合計画について	1
キャッシュレス・消費者トラブルについて	3
人権講座「寛容社会へ」	1
ゲートキーパー養成講座	1
障がい福祉を理解しよう	1
泉大津の文化財について	2
出張織編館「モフ草履講座」	13
介護予防について	1
健康講座+各種測定(インボディ・あしゆび・血管年齢・骨密度)	4
あしゆびケア・あしゆび体操	15
認知症について(脳トレ)	1
親子広場たんぽぽ「歯科相談」	2

口腔講座	4
食育啓発出前講座	10
ファミリー・サポート・センター講習会	1
介護保険制度で利用できる住まいについて	2
健康教育「フレイル予防」について	3
その他	1
合 計	223

市民公益活動の推進（第12条～第13条）

▶市民活動支援センター（おづぶらぎ）運営（継続）

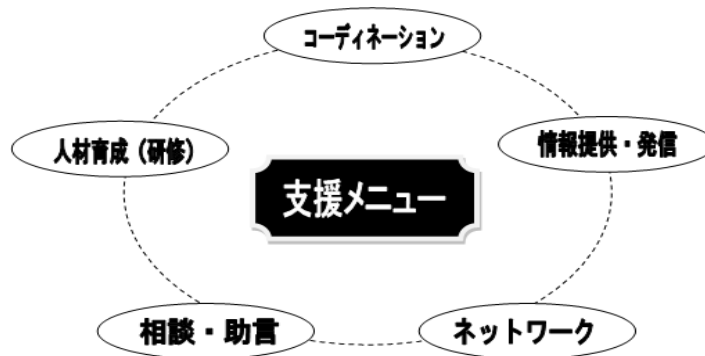
【設置目的】

市民の自主的で営利を目的としない公益性のある活動を支援し、市民と行政との協働のまちづくりを推進することを目的に設置する。

【設置根拠】

泉大津市参画及び協働の推進に関する条例第13条第3号

【センターの機能】



（機能1 情報提供・発信）

情報誌（センターだより）やホームページなど多様な媒体を活用し、団体紹介、イベント紹介、補助金情報など市民活動に関する情報を提供する。

（機能2 相談・助言）

ボランティアがしたい、活動を始めたい、NPO法人になりたいがどうすればいいかなど、何か困った時に適切に相談・助言をおこなう。

（機能3 コーディネーション）

個人と団体、団体同士、団体と事業者などをつなぐ。

（機能4 ネットワーク）

市民や団体が交流する場所や機会を提供し、自らがつながるきっかけづくりをする。

（機能5 人材育成）

市民活動に関心のある市民や団体に対して、学習の機会を提供する。

【運営概要について】

- ・ 運営方式
公設民営
- ・ 受託団体
NPO法人いずみおおつ市民活動ネット（4月～6月）
NPO法人シンフォニー（7月～現在）
- ・ 事務局体制
センター長代理1名、副センター長1名、事務員1名、非常勤事務員1名、相談員1名
- ・ 設置場所
テクスピア大阪5階

○開所以来の概要

平成27年1月15日の開所から約5年が経過し、令和元年7月より運営団体が「NPO法人いずみおおつ市民活動ネット」から「NPO法人シンフォニー」へ変わった。団体事務所は兵庫県尼崎市であるが、センターの常勤スタッフを泉大津市民から採用し運営している。兵庫県尼崎市で20年に渡ってまちづくりに取り組んできたノウハウを泉大津で活かし、市民共益活動をしている団体や個人の支援に努めている。

○事業について（平成31年4月から令和2年1月の実績）

項目	事業項目
1. 情報提供・発信	①センターニュース「おづぷらざ」の発行 1回（6月） おづぷらざ新聞「新風」の発行 3月 ②ホームページ・SNS（Facebook）の発信（不定期更新） ③メールマガジン「新風」の発行（不定期） ④アウトリーチ（随時） ⑤外部媒体を利用した情報発信（不定期）
2. 相談・助言	⑥相談対応 計73回（平成31年4月から令和2年1月まで）
3. コーディネーション	⑦相談対応 計8回（うち実績につながったもの7回）
4. ネットワーク	⑧まちづくり井戸端会議の開催 計3回 ⑨泉大津地域交流会の開催 計2回 ⑩南大阪中間支援センター交流会の開催 計1回 ⑪泉大津市社会福祉協議会防災イベント協力 計1回 ※2月中に1回実施予定だったがコロナウイルスの影響により中止 ⑫おづぷらざフェスタの開催 ※3月下旬開催予定
5. 人材育成	⑬セミナー・講座・学習会・シンポジウムの開催 計14回 ⑭市民教授（講師バンク）の開設と養成講座の開催 計2回 ※2月中に1回実施 ⑮市民教授講座の開催 計3回

○実績について (平成31年4月から令和2年1月の実績)

項目	令和元年度	平成30年度	内容
開館日数	239日	241日	開館日：木曜～火曜日（祝日及び年末年始を除く） 開館時間：9:30～17:15 ※令和元年10月より（金）（土）のみ 夜間開館開始9:30～21:00
利用者数	1,671人	1,446人	来所者数
機材利用	780件	568件	センター内の印刷機等の機器利用数
会議室利用	123団体	65団体	会議スペースの利用団体数
ロッカー利用	9団体	7団体	貸出用ロッカーの利用団体数（累計）
メールボックス利用	14団体	11団体	貸出用メールボックスの利用団体数（累計）
利用登録団体数	130団体	116団体	センター開所からの累計（登録廃止除く）
利用登録個人数	2人		センター利用登録をしている個人数の累計
アウトリーチ数	441件		取材、イベント広報、手配り等で外回りした件数

1. 情報提供・発信

①センターニュース「おづぶらざ」の発行及びおづぶらざ新聞「新風」の発行。

A4版4ページで市民公益活動に関する情報やセンターの活性化の情報発信媒体としてセンターを開所してから現在まで年4回しており、今年度は6月に「おづぶらざ」（700部）と3月に「新風」を発行する。内容はセンターで受けた相談のうち需要が多い内容をメイン記事にする。また、スタッフが現場で取材を行った団体の活動の紹介や、センターで開催したイベントや講座の報告及び今後のイベント等の告知などである。

読者に興味を持ってもらい、団体活動の励みやセンターの機能の周知につながる新聞になることを目指している。

②ホームページ・SNS（Facebook）の発信

泉大津市ホームページ内のセンターのページに、センターの利用案内や団体の登録情報を掲載している。

また、センターのイベント、講座、団体が実施するイベント、団体活動の取材報告、センターでの日常業務情報など、即時性が必要なものは管理権限を持ったスタッフが随時 SNS（Facebook）で情報発信を行っている。

③メールマガジン「新風」の発行

センターで開催するイベント、講座、シンポジウム等の情報を、メールアドレスを登録し

ている団体または個人へ不定期で発信している。第1号は令和元年10月10日(木)に発信した。

④アウトリーチ

泉大津市、または団体が参加するイベントへ伺い、取材や団体との交流を積極的に行っている。取材後、情報公開の許可ができたものはセンターのFacebookで活動内容を広報し、周知している。

センター発行の文書、チラシ、ポスターもできる限り手配りで、各公共施設や団体代表者、関係各所へ手渡しをして参加を促している。

団体とセンターの顔の見える関係づくりに寄与している。

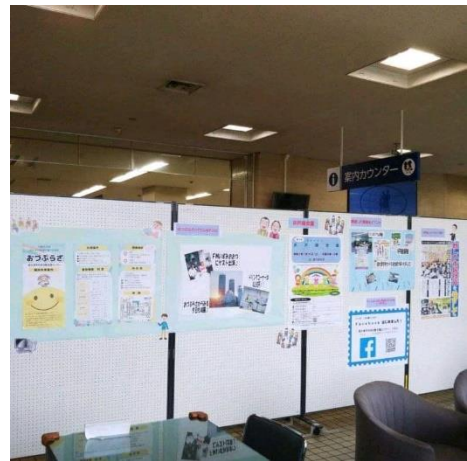
月	アウトリーチ先
7月	計25件 ●取材計5件 7/13 ブックランド・あさひ、7/20 女性コーラスあじさい、7/20 カフェ旭、 7/21 東陽ネット、7/28 松下食育農業塾 ●井戸端会議チラシを登録自治会へ手配り23件
8月	計125件 ●取材計4件 8/17 浜助松自治会、8/18 OZUSPO、8/25 松下食育農業塾、8/25 アルザ自治会 ●手配り計121件 8/6～/15 登録団体へ新パンフレットと夜間アンケート配布
9月	計61件 ●取材計6件 9/14 ブックランド・あさひ、9/14 ミント条東、9/12・9/21 NPO法人泉大津市和花、 9/23 楽っちょ弾、9/28 泉大津市立北公民館サポーターチーム ●手配り計55件 登録団体へ9/22 泉大津地域交流会のチラシ配布
10月	計141件 ●登録団体&公共施設へ手配り 10/19 井戸端会議チラシ配布46件 11/2 シンポジウムチラシと講座一覧チラシ配布82件 11/15 おづらざフェスタ事前説明会の案内配布13件
11月	計9件 ●取材9件 11/3 泉大津さんま祭り、11/10 南公民館まつり、11/10 市民体育祭、11/24 市民音楽祭、 11/30 市展・茶華道展、11/30 ロボットアイデア甲子園、11/30 川柳の会、 11/30 オペラ×講談「電話」
12月	計60件 ●取材4件 12/1 泉大津市文化祭、12/7 健康・省エネ住宅シンポジウム、 12/8 防災クエストウォーク(泉大津JC)、12/9 NPO法人泉州てらこや「ハローワーク」 ●登録団体へおづらざフェスタの案内手配り56件
1月	計20件 ●取材計3件 1/11 ブックランド・あさひ、1/11 図書館フォーラム、1/30 こども体育あそびnet。 ●手配り計17件 1/7 おづらざフェスタ展示ブースアンケート14件、ステージ発表議事録手配り3件

⑤外部媒体を利用した情報発信

コミュニティラジオ局「FMいずみおおつ」にゲスト出演し（令和元年9月17日（火）「みさとなるのすっぴん井戸端ラジオ」）、センターの事業についてPRした。「いつも利用している」、「お世話になっている」等、生放送中にリスナーよりメッセージが来た。後日「放送を聞いた」といった反応が利用者からあった。

また、市役所1階ロビーにて4日間パネル展を行った（令和元年11月5日（火）～8日（金））。

パネル展でチラシを見たといって、講座への申込みの電話が1件あった。



2. 相談・助言

⑥相談窓口の開設

市民、団体からの市民活動に関する問い合わせや相談等に対応するため、相談窓口を開設している。センター窓口の他、電話、FAX、メール、SNS（Facebook）のダイレクトメールから、法人設立手続きや登録団体の活動内容に関する事、活動の場所やイベント実施に関するもの、パソコンの技術、人材の紹介依頼など多岐にわたる相談に応じている。

3. コーディネーション

⑦団体間の交流と活動場所の拡大を目指す

団体間の交流と活動の活性化を目的に、相談からコーディネートにつなげることを目指している。

内容
アルザ自治会×NPO 法人シンフォニー →アルザ自治会夕涼み会 (8/25) にてライブ配信
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会×NPO 法人岸和田国際交流協会 →保育園の説明会にて英語通訳依頼
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会×泉大津市茶華道連合会 →河合病院にて不定期で生け花を生けることになった
NPO 法人泉州てらこや×泉大津点字サークル「にじ」 →手紙の点訳依頼
こども体育あそび net. ×ココフレア →ココフレアのイベントで令和2年4月8日(水)より活動開始
こども体育あそび net. ×えんぜる保育園 (徳洲会院内保育園) →近日活動予定
こども体育あそび net. ×泉佐野健康増進センター →近日活動予定

4. ネットワーク

⑧まちづくり井戸端会議

市内で活動している団体や市民が、自由に意見を述べ、情報交換できる場を提供することで、個人や団体のネットワークを形成することを目的として年4回開催している。

今年度からは、参加者の中でファシリテーターや書記を決め、会議を行う自主運営方式での開催を実施している。

しかし、毎回参加者よりテーマの設定理由や自主運営方式について意見があった。テーマをあらかじめ設定していることによって、自由に意見を述べられず参加しにくい感じ、興味のないテーマには参加する気にならないとのこと。また、ファシリテーターや書記を参加者から募ると、決めるだけで時間を要してしまう。気軽に参加しにくいとの意見もあった。

上記の意見から、次年度についてはテーマ設定は行わずフリートークでの開催を検討している。

実施日 / 内容	参加者
平成 31 年 4 月 20 日 (土) 「市民活動団体の練習・発表の場について」	8 名
令和元年 7 月 20 日 (土) 「自治会が考える災害対応のありかたについて」	8 名
令和元年 10 月 19 日 (土) 「障がい者・高齢者福祉活動のこれからについて」	5 名
令和 2 年 1 月 18 日 (土) 「『子どもの今』と地域支援について」	2 名

場所：市民活動支援センター 会議スペース 開催時刻はいずれも午後 2 時～4 時

⑨泉大津地域交流会の開催 計 2 回

公益活動をしている、または興味がある人が集まり、交流することで個々の活動の幅を広げる目的で開催した。

第 1 回目は参加者の中から自身の活動についての話題提供があり、あらかじめ事務局にて用意設定していた「阪神淡路大震災と地域連携」の話はほとんどなかった。

会終了後、参加者同士で名刺交換をする場面がみられた。

第 2 回目は新たな参加者層の掘り起こしを目的に夜間開催としたが、参加者が少数であったため雑談形式で会を進めた

実施日 / 話題提供者	参加者
令和元年 9 月 22 日 (日) 「第 1 回泉大津地域交流会」 午前 10 時～正午 話題：「阪神淡路大震災と地域連携」	18 名
令和元年 12 月 14 日 (土) 「第 2 回泉大津地域交流会」 午後 6 時半～8 時 話題：なし	3 名

場所：市民活動支援センター 会議スペース

⑩南大阪中間支援センター交流会

南大阪で NPO 認証や市民公益活動を担当している、または中間支援センターがある自治体の担当課や中間支援センターを管理運営している団体が集まり、各自の課題や情報交換をする目的で平成 18 年度より毎年 1 回（平成 22、24、27 年度は未開催）開催している。

幹事団体が提供したテーマについて話し合い、意見交換をする。幹事団体は持ち回りで、今年度（第 12 回）は泉大津市が担当した。

実施日 / テーマ / 話題提供者（ファシリテーター）	参加者
令和 2 年 1 月 16 日 (木) 午後 1 時半～4 時半 (3 時間) 交流会テーマ【市民活動における SDGs の現状と方向性についての意見交換】 ファシリテーター：志場久起 (NPO 法人わかやま NPO センター副理事長・事務局長) 話題提供「和歌山における SDGs の取り組み現状と方向性」	行政 5 団体 3 参加人数 計 18 名

場所：テクスピア大阪 301 会議室

⑪泉大津市社会福祉協議会防災イベントの協力 (1回 ※2月中に1回実施予定)

「地域のネットワークづくりに向けた防災の講習会・災害ボランティアフォローアップ研修会」の検討会議に出席するとともに、広報協力やイベント当日は情報提供者として参加した。

令和2年2月に開催予定の第2回目も検討会議から出席し、当日も参加予定である。

⇒コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

実施日 / テーマ	参加者
令和元年9月18日(水)「昨年の災害を振り返り考えましょう、備えましょう」 午後7時～8時45分	54名
令和2年2月22日(土)「自分にできる身近な防災について考えてみませんか」 午前10時～正午	中止

場所：総合福祉センター3階 第一会議室

⑫交流フェスタ（おづぷらざフェスタ）の開催

市民活動団体の活動等を広く市民に発信し、団体同士の交流及びネットワーク形成の促進を図ることを目的にフェスタを実施している。

今年度は11月15日(金)に事前説明会を開き、団体代表者よりフェスタについての意見を求めた。「市民参加型で開催してほしい」、「物販ブースを設けてはどうか」などの意見を取り入れ、フェスタについて再考し内容を決めた。

令和2年3月27日(金)から29日(日)まで開催する予定である(ステージ発表・体験ブース・物販ブースは29日のみ)。

今回は団体よりフェスタ開催中のお手伝いを募り、フェスタの運営側としても参加してもらう。

また、「おづみんマルシェ」と銘打って団体の活動資金調達のため、物販ブースを新しく設ける。

事業名	おづぷらざフェスタ
日時	<p>[展示ブース] 3月27日(金)～29日(日) 3日間 午前10時～午後5時 ※29日(日)のみ午後4時まで</p> <p>[ステージ発表・体験ブース・物販ブース] 3月29日(日) 1日間 午後1時～午後4時</p>

場 所	[展示ブース] テクスピア大阪 1階 織編館ギャラリー [ステージ発表・体験ブース・物販ブース] テクスピア大阪 1階 小ホール
参加団体	22 団体（市民公益活動団体 20、自治会 2）※令和 2 年 1 月末現在
内 容	活動紹介のパネル展示、ステージ発表、活動体験コーナー、活動資金調達

5. 人材育成

⑬セミナー・講座・学習会・シンポジウムの開催（14回）

NPO 法人、市民公益活動団体、市民、また、市外住民に対し、活動のスキルアップや意識啓発を行うことを目的として次のとおり各種講座を実施している。

講座開催が決まり次第、チラシやポスターを作成し公共施設や団体代表者へ手配りするとともに、Facebook へ投稿し周知している。

10 月より金曜日と土曜日が午後 9 時まで開館することとなり、その周知も兼ねて夜間の時間帯に講座を開講したが、集客につながらなかった。「日中に開催してほしい」との意見を主婦層や定年退職をされた層から多く聞いた。講座のタイトルが硬く、内容についても夜間利用者層の需要に合わなかったのではないかと考えている。

●プレゼンテーション関連講座（2回）

市の「がんばる市民公益活動応援補助金」交付申請団体のプレゼンテーションや団体の提案力向上を目的として実施。

●助成金申請書作成入門講座（1回）

「泉大津市がんばる市民公益活動応援補助金」の申請に必要な申請書作成の順序や、補助金の使用用途についての基礎知識について学ぶ目的で実施。

●認可地縁団体設立勉強会（2回）

泉大津市内の自治会の要望により実施。認可地縁団体設立条件や設立手順、申請書の書き方について、団体の知りたい内容、要望に沿った団体別勉強会。

●CB（コミュニティビジネス）関連講座・シンポジウム（4回）

持続可能な地域活動をするために必要な方法について、「コミュニティビジネス」という言葉の説明から事業報告書の書き方、ファンドレイジング（資金調達）の方法、実際に行われているCBまで、具体的に学べる内容で展開している。

●NPO（特定非営利活動法人）関連講座（4回）

非営利組織とはどういうものかといった基本的な事柄や、泉大津市内外で活動する団体の代表者を講師に迎え、今話題になっているキーワードに沿った講座をしてもらい、参加者にもその課題について考えてもらう目的で実施。

●泉大津を知る講座（1回）

市の出前講座や地域包括度支援センター職員を講師に迎え、市民を対象に、今の泉大津の現状を分かりやすい言葉で説明し、自分の住むまちをより深く知ってもらう目的で実施。

セミナー・講座・学習会・シンポジウム名/日時	参加人数
プレゼンテーション講座（第1回）～企画の立上げ編（スキルアップ講座）～ 講師：鳥羽 博司氏（デザインオフィス アポット） 令和元年5月19日（日）午前10時～正午	11名
プレゼンテーション講座（第2回）～本気にさせる見せ方・伝え方編～ 講師：鳥羽 博司氏（デザインオフィス アポット） 令和元年5月26日（日）午前10時～正午	5名
助成金申請書作成入門講座 講師：山崎勲（NPO 法人シンフォニー代表理事） 令和元年7月6日（土）午後1時半～3時	4名
認可地縁団体設立勉強会～田中町自治会編～ 講師：山崎勲（NPO 法人シンフォニー代表理事） 令和元年8月18日（日）午後1時半～3時半	6名
CB入門講座「コミュニティビジネスってなに？」 講師：山崎勲（NPO 法人シンフォニー代表理事） 令和元年10月18日（金）午後6時半～8時	2名
NPO入門講座「夢やアイデアをカタチにする」 講師：山崎勲（NPO 法人シンフォニー代表理事） 令和元年10月25日（金）午後6時半～8時	1名
CB入門講座「地域資源の発掘・活用」 講師：山崎勲（NPO 法人シンフォニー代表理事）、笹井菜摘（おづぷらざスタッフ） 令和元年11月1日（金）午後6時半～8時	4名
CBシンポジウム「高齢化する障がい者の現状と住まい」 講師：重野勉（社会福祉法人ポポロの会常務理事） 令和元年11月2日（土）午後1時半～4時半 会場：テクスピア大阪 302 会議室	19名

CB入門講座「資金を集める（ファンディング）ノウハウ講座」 講師：中須雅治（近畿労働金庫地域共生推進室） 令和元年11月8日（金）午後6時半～8時	3名
NPOリーダー養成入門講座「自治会が考える多世代の居場所づくり」 講師：平松泰男（旭町自治会会長）、高田麻由美（share space まちいえ代表） 令和元年11月9日（土）午後6時半～8時	4名
NPOリーダー養成入門講座 「協働の中にある『対等』と『平等』の意味について」 講師：楠喜博（伝達工学研究所） 令和元年11月16日（土）午後6時半～8時	1名
NPOリーダー養成入門講座「ソーシャルインクルージョンと多文化共生」 講師：池側真紀（つばさ国際交流クラブ代表）、 三井孝夫（NPO法人リアライズ理事長） 令和元年11月30日（土）午後6時半～8時	1名
泉大津を知る講座「コンパクトシティとケアシステム」 講師：東山博文（泉大津市総合政策部政策推進課課長） 寺田幸二（泉大津市地域包括支援センター所長） 令和元年12月7日（土）午後6時半～8時	5名
認可地縁団体設立勉強会～松之浜町自治会編～ 講師：山崎勲（NPO法人シンフォニー代表理事） 令和元年12月24日（火）午前11時～正午	4名

場所：市民活動支援センター 会議スペース

- ⑭市民教授（講師バンク）の開設と養成講座の開催（2回 ※2月中に1回実施予定）
 経験や技術、知識、特技といったスキルを地域のために活かしたい、伝えたい、生きがいづくりをしたいという市民の思いを応援するための登録制講師バンクを開設している。
 講師登録を受付し、マッチングするだけでなく「市民教授」の活躍の場も提供する。
 また、実際に講師として活動するにあたり必要な知識を学ぶ目的で、市民教授養成講座（デビューサポート講座）を開催している。

講座名/日時	参加人数
市民教授養成講座 第1回「『教え方』を教えます！」 講師：山崎勲（NPO法人シンフォニー代表理事） 令和2年1月24日（金）午後6時半～8時	3名

市民教授養成講座 第2回「自分にはなにができる？キャリアの棚卸をしてみよう！」 講師：小島健一（NPO 法人シンフォニー、おづぷらざセンター長代理） 令和2年1月31日（金）午後6時半～8時	2名
市民教授養成講座 第3回「『教務』ってどんなお仕事？」 講師：山崎勲（NPO 法人シンフォニー代表理事） 令和2年2月7日（金）午後6時半～8時 場所：市民活動支援センター 会議スペース	3名

⑮市民教授講座の開催（3回）

まちの先生「市民教授」として活躍の場を広げてもらうために開催。今回は市民教授デビューの第一歩としてセンターで開催した。

実施日 / 講師名	参加者
令和元年11月21日（木）「アロマフレグランスストーン講座」 午前10時～11時30分 講師：大橋知恵	8名
令和元年12月7日（土）「快適な睡眠」 午前10時15分～11時45分 講師：飯野敦	2名
令和2年1月17日（金）「難病と社会生活との両立～潰瘍性大腸炎編～」 午後6時30分～8時 話題提供者：笹井菜摘	2名

場所：市民活動支援センター 会議スペース

◎夜間開館について

10月より夜間開館を試行実施するにあたり、8月に団体代表者へ事前アンケートを行った。その結果、金曜日と土曜日に需要が集中したので、午後9時まで開館することとなった。広報いずみおおつでの告知やFacebookで随時PRし、ポスター、チラシを作成し周知を行ったが、利用者の増加にはつながっていない。（※資料3参照）

▶がんばろう基金（継続）

平成 20 年度に設置された基金で、市民が自発的に行う公益的な活動に対し、支援するため、市民の寄付と市が定める額を積立てているもの。これを原資に公募型補助金制度を通じて市民活動団体に財政的な支援を行っている。

【積立残高】

37,083,659円	令和元年5月31日時点
-------------	-------------

【過去3年の寄附状況】

平成 29 年度	54 件	5,250,000円
平成 30 年度	33 件	2,006,000円
令和元年度 (令和2年1月末現在)	153 件	5,631,000円

▶がんばる市民公益活動応援補助金（継続）

この制度は、がんばろう基金を原資として平成 21 年度より市民の自発的な特定非営利活動を財政面で支援することにより、市民活動を活発化し、市民主体のまちづくりの進展に寄与することを目的とするもの。10 年間、のべ 45 団体 802 万円の支援を行った。

自立促進支援事業の申請件数は、年度によって変動はあるものの、平成 26 年度までの過去 6 年間の申請団体は平均 4 団体であったが、市民活動支援センターが開設された平成 27 年度以降は平均 8 団体からの申請があり増加傾向にある。また、令和元年度については 4 団体の申請となっているが、昨年度まで複数年にわたり補助を受けていた団体が自立したことから、申請団体は減少した。

また、平成 30 年度より新たに「人材育成を支援する補助制度」を創設し、平成 30 年度と令和元年度ともに 2 団体の申請があり書類審査の結果、2 団体に補助を行った。

さらに、令和元年度は公益活動活性化を支援する事業として自治会やまちづくり協議会等が地域コミュニティの活性化などのために実施する新たな事業についても補助を行い 8 団体が活用している。

【令和元年度実績】

1. 補助金の募集・審査

事業説明会	4月9日(火) 泉大津市役所(3階301会議室)	参加 8団体
申込み受付	自立促進支援補助制度 4月9日(火)~5月17日(金) 公益活動活性化支援補助制度・人材 育成支援制度 6月3日(月)~7月12日(金)	申請 4団体 8団体 2団体
審査会	6月16日(日) 泉大津市役所(3階大会議室)	参加者 15名



審査会の様子

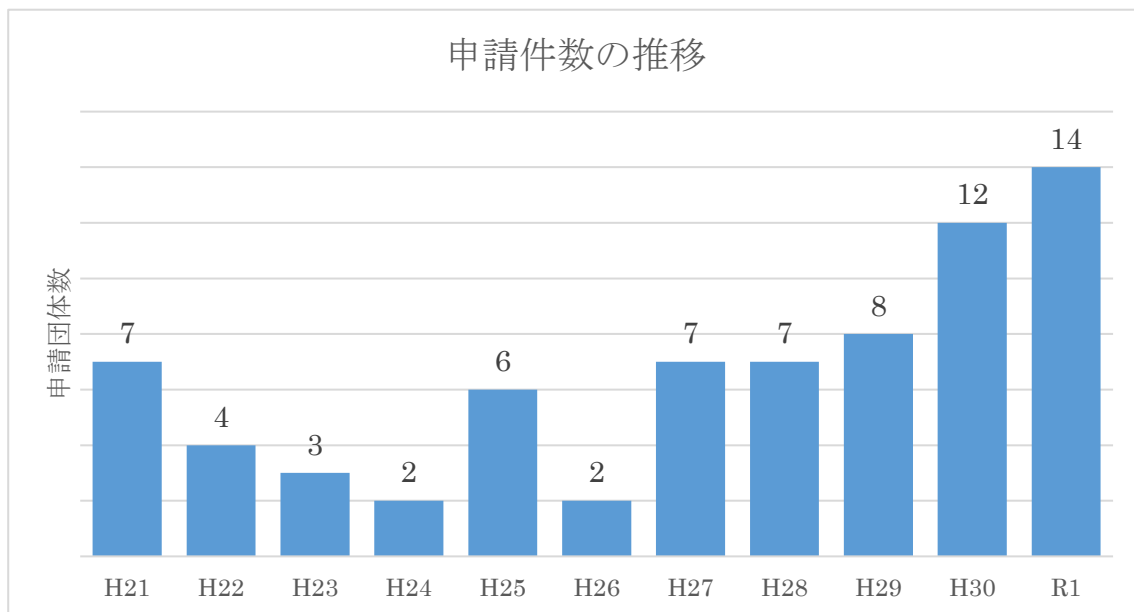
2. 令和元年度補助事業認定申請

	申 請		交付決定額	
自立促進支援	4事業	900,000円	3事業	600,000円
公益活動活性化支援	8事業	698,000円	8事業	698,000円
人材育成支援	2事業	199,080円	2事業	197,580円
合計	14事業	1,797,080円	13事業	1,495,580円

3. 令和元年度認定事業(順不同)

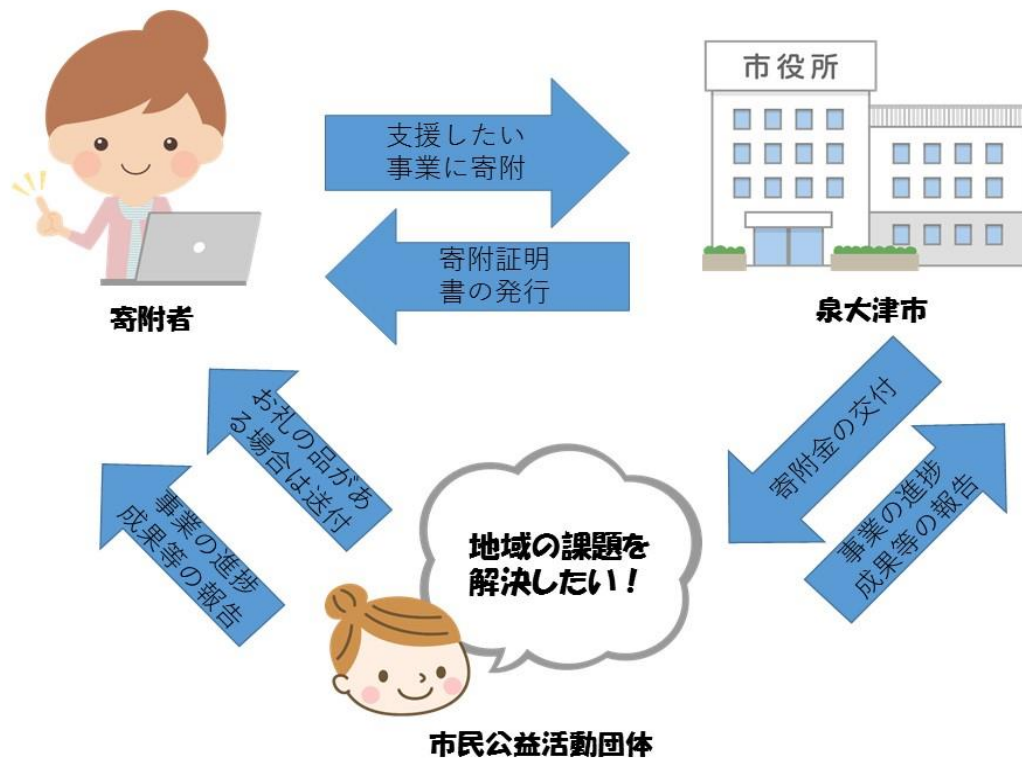
区分	事業名 (交付決定額)	内容	団体名
自立 促進 支援 補助	幼稚園・保育所体育あそび事業 (200,000円)	市内公立幼稚園や保育所に通う子どもたちに運動の場を提供することで、身体を動かすことに積極的な健やかな子どもを育成する。	こども体育あそびnet.
	南公民館キッズプロジェクト「南公民館で遊ぼう!」第四弾 (200,000円)	公民館の活性化を目的としたイベントの企画立案を子ども自身が実施することで、魅力あるまちづくりと子どもたちの健全育成を図る。	泉大津市南公民館キッズプロジェクト実行委員会
	地域在住の外国人への国際協力・国際交流事業 (200,000円)	日本語ボランティア養成講座等を開催し、言語面でのサポートや交流の機会を創出することで国際交流・多民族共生を実践する。	つばさ国際交流クラブ

公益活動 活性化 支援 補助	寿町わかばフェスタ (100,000円)	イベントの開催により自治会入会数の減少を食い止め、もって地域コミュニティの安定を図る。	寿町自治会
	昭和町納涼大会交流フェスタ (56,000円)	イベント内で自治会の加入促進活動を実施し、地域コミュニティの活性を図ると共に住民同士の交流を図る。	昭和町自治会
	戒町もちつき大会 (80,000円)	イベント内で自治会の加入を呼びかけ、幅広い年代層が集い、交流・親睦を図る。	戒町自治会
	南曾根サマーフェスティバル (60,000円)	イベント内で自治会活動を紹介し、自治会加入を呼びかけるとともに、住民の交流を図る。	南曾根自治会
	宇多之庄自治会住民交流フェスタ(異世代交流懇親会) (100,000円)	高齢者及び子ども会(その保護者)並びに自治会員の相互の懇親を図り自治会活動及び存在意義の理解を深め、自治会の加入促進を図る。	宇多之庄自治会
	自治会活動の情報発信及び紹介ツールの創作事業 (100,000円)	自治会活動内容を知り、興味を持ち、面白い、自分たちもやってみたくて思ってもらえるよう自治会活動の情報を発信する。	アルザ自治会
	清水町親子餅つき大会 (99,000円)	町内の各種団体の交流が今まで以上に活性化し、若い世代の力を借りながらまちの活性化とともに新規加入獲得を目指す。	清水町自治会
	旭校区まちづくり協議会立ち上げ事業 (100,000円)	旭校区まちづくり協議会を設立するにあたり設立総会および基調講演を実施し機運を高め、また広報活動により地域住民に周知を図り住民の理解を深めることを目的とする。	旭校区まちづくり協議会
人材育成 支援 補助	もっと自分たちの活動を伝えよう連続講座 (100,000円)	基本的な広報にかかる技術的なことを習得することにより各団体の広報機能のレベルアップを目指すための講座を開催する。	NPO 法人いずみおおつ市民活動ネット
	【絵本ひろば】を学ぼう (98,500円)	「読書量日本一」を目指す泉大津市では、「絵本ひろば」の普及が必要不可欠であり、多くの方に「絵本ひろば」の理念を知ってもらい関わり手を増やすこと、また、読書の楽しみを広め子どもたちの居場所づくりに寄与することを目的に講演会を開催する。	絵本の会ぽっかぽか



▶ガバメントクラウドファンディング（新規）

令和元年度より、地域の課題又は社会的な課題解決を図るため、NPO等が行う公益的な取り組みについて資金調達を支援する「クラウドファンディング型ふるさと納税によるNPO等を指定した支援」による寄附金制度を創設した。地域の課題解決などを目的とした公益的な事業を募集し「アイデアがあっても資金がない」というような団体（法人でなくても可）に広くインターネットで資金を集めることができるチャンスを提供し、地域課題解決のためのチャレンジを応援する。



通常のクラウドファンディングとの違いは、市がふるさと納税の制度を活用して資金の募集を行うため、寄附者にとっては寄付金額に応じて税額控除を受けることができ、通常のふるさと納税より使用目的が明確で、個々の希望に応じたプロジェクトを支援することが可能となる。また、事業実施団体にとっては公共機関が実施する寄附募集となるので、事業への信頼度が高まり、団体の活動を効果的にPRできるなどメリットが大きい。また市としては、公益活動団体の自立性と自主性が確立されることにより市内での公益活動が活性化されるなど、「団体よし寄付者よし世間よし」の三方よしを実現できる。

令和元年度の実績については、各種団体からの問合せ等反応はあるが、申請および事業実施には至っていない現状がある。

次年度についても、団体や市民への説明会等を実施し申請事業を募集する。

▶セーフコミュニティ活動の推進（継続）

【目的】

セーフコミュニティ活動とはWHO（世界保健機関）のセーフコミュニティ協働センターが推奨する安全・安心なまちづくりの取組のことで国際認証制度が設けられている。

活動理念は事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防できるというもので、活動にあたっては行政や医療機関、警察、地域活動団体や市民が協働で安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進める。この取組を通じて地域コミュニティの活性化を図る。

【これまでの経過と今後の予定】

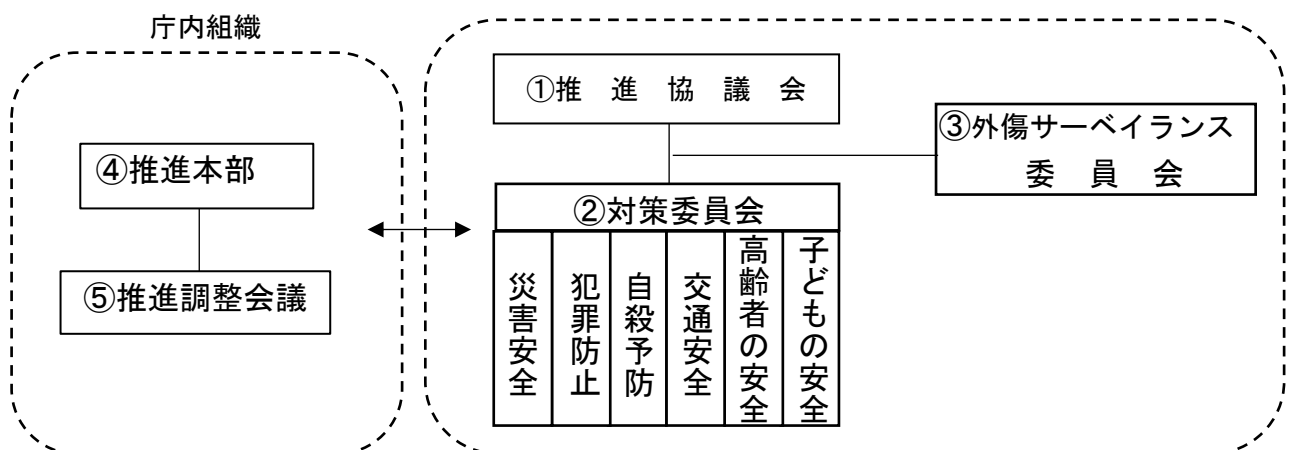
平成26年6月に活動に取り組むことを宣言。その後、6つの重点テーマを設定し、各対策委員会でその対策を検討及び取組みを進め、平成27年10月の事前審査を経て、平成28年8月に本審査を受け、10月に認証取得。

【対策委員会委員構成】

	地域 団体	医療 関係	一般 市民	学識 経験	学生	教育 機関	福祉 関係	民間 企業	行政 機関	市職	合計
交通安全	5		1			1		2	2		11
高齢者の安全	3	2					3	2		2	12
災害安全	10		1						2	2	15
子どもの安全	4		2			2				4	12
自殺予防	4	1	1	1			2		4	4	17
犯罪防止	11		1					1	1		14
総 計	37	3	6	1	0	3	5	5	9	12	81

【組織図】

セーフコミュニティ組織



＜セーフコミュニティ組織＞

- ①推進協議会：地域団体、警察、消防、行政等で構成された分野横断的な推進組織
- ②対策委員会：重点テーマの分野別委員会で地域団体、行政機関など分野横断的なメンバーで構成
- ③外傷S委員会：医療関係機関、警察、保健所等で重点項目のデータ収集分析検証、評価助言機関

＜庁内組織＞

- ④推進本部：庁内の部長等で構成
- ⑤推進調整会議：各対策委員会のテーマに関連する課長等で構成

【会議開催実績】

組織名	回数				
	H27	H28	H29	H30	R1
推進協議会	3	2	2	2	3
外傷S委員会	4	4	2	2	2
合計	7	6	4	4	5

対策委員会名	回数				
	H 27	H28	H29	H30	R1
交通安全	13	9	8	7	2
高齢者の安全	11	5	9	4	2
災害安全	12	5	6	4	3
子どもの安全	12	8	9	7	6
自殺予防	11	8	4	4	3
犯罪防止	10	6	4	1	3
合計	69	41	40	27	19

▶自治会活動の活性化（継続）

本市の自治会加入率は平成31年4月現在、86団体18,338世帯で、市全世帯数に占める加入世帯割合は53.49%となっている。平成20年に比べ、約10%低下している。このため、平成25年8月に加入促進専門部会の設置し、加入促進策について検討している。「自治会の魅力を高める」「情報を発信する」「未加入者への働きかけ」の3つの基本的な方針に基づき、自治会と市との協働により取り組みを進めている。

【令和元年度実績（予定含）】

事業名	内 容
自治会加入促進支援事業	新規加入者の獲得に取り組む単位自治会に対して、奨励金の支給をはじめ意見交換会の開催や加入促進の手引きを活用し、必要なノウハウ等の提供など支援を実施。
防犯カメラ設置等補助金事業	平成27年度より自治会の防犯カメラ設置に対する補助金事業を実施、令和元年度は4団体8基、(30年度11団体19基、29年度12団体23基、28年度は19団体48基、27年度は29団体78基)に対して補助した。5か年で176基の設置に至った。
加入促進啓発リーフレットの配布	自治会の加入を啓発するリーフレットを市で作成し、公共施設や市民課窓口で転入者へ配布している。
	自治会の加入を啓発するリーフレットを自治会連合会で作成、泉大津商工会議所発行の機関紙「news chamber」26,000部へ折込み配布し、未加入世帯への加入促進を行った。
自治会活動報告を市広報紙へ掲載	上記と同月発行の広報紙へ自治会の活動報告や先進事例を紹介し、自治会の魅力を発信した。
宅建協会泉州支部への協力依頼	加入促進協定に基づき宅建協会泉州支部へ転入者等への加入働きかけを依頼。
がんばる市民公益活動応援補助金	市民公益活動の促進のため、自治会行うコミュニティ活性化を目的とした活動に対して補助金を交付した。令和元年度は7自治会が活用し事業を実施した。

▶まちづくり協議会設立支援（継続）

市民ニーズの多様化・高度化が進むなか、こうした状況に対応するためにも、市民が自主的、自立的に、まちづくりを担っていくことが求められる。

一方、ボランティアに対する市民意識の高まりに加え、また団塊世代の大量退職時代を迎え、地域に目を向ける市民が多く見込まれるなか、地域活性化の大きな原動力として市民の自発的な活動が促進される仕組みをつくることにより、市民の地域への愛着心を醸成し、ひいては地域活性化及び定住促進に寄与することを目的とする。

(1)事業内容

平成28年度より旭校区をモデル地区として、地域住民、子ども会を含む自治会などの地域団体、PTAを含む学校関係、その他公益的な活動をしている各種団体等が参加して、ゲストスピーカーによる講演会、ワークショップ等の開催等を通じて、参加者のまちづくりにおける認識の共有を図ると同時に、自らが主体的に話し合う場を設けるなど主体的にまちづくりに参加できるよう仕組みをつくるための支援を行う。

(2)事業後の展望

令和2年2月24日に設立総会を開催し、泉大津市内初の協議会として活動を実施していく。

今後、各地区において地域の実情に合わせた協議体の設立支援を行い、市全体として持続可能な市民主体のまちづくりを推進していく。

【令和元年度実績】

日 程	内 容
コアメンバー会議 R1. 8. 26	コアメンバーにて規約（案）の確認、設立後の名称、組織・運営体制、多目的室の利用について検討。
第1回役員会 R1. 10. 4	設立総会の日程、内容について、及び各部会の部会長選出方法について役員で検討。
第2回役員会 R1. 11. 7	設立総会開催のため、「がんばる市民公益活動応援補助金」の申請について、まちづくり委員の勧誘方法について検討。
第3回役員会 R2. 1. 7	ロゴの作成について、設立総会の次第や役割分担について検討。
コアメンバー会議 R2. 1. 14	まちづくり委員の勧誘について、設立総会について検討。規約の最終確認。
第4回役員会 R2. 2. 13	設立総会について最終確認。
設立総会 R2. 2. 24	設立総会

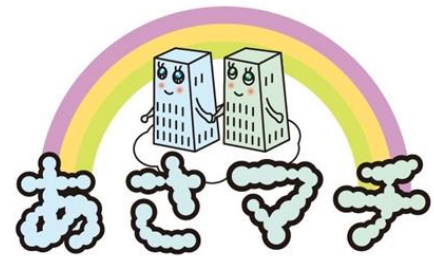
【平成 28. 29. 30 年度実績】

日 程	内 容
第 1 回検討会 H28. 11. 25	事業趣旨説明・意見交換及び今後のスケジュールの調整
第 2 回検討会 H28. 12. 13	先進事例について学ぶ NPO 法人えのもと地域活動協議会（大阪市鶴見区）
第 3 回検討会 H29. 2. 15	先進事例について学ぶ 山本小学校区まちづくり協議会（八尾市）
コアメンバー 会議 H29. 3. 27	コアメンバーにて今後の方向性を検討する。
第 4 回検討会 H29. 4. 12	事業趣旨説明・意見交換及び今後のスケジュールの調整
第 5 回検討会 H29. 5. 24	各団体の課題抽出、今後の方向性を検討する
第 6 回検討会 H29. 7. 18	校区内の活動の分類、今後の方向性を検討する（グラフィック ファシリテーターの活用）
第 7 回検討会 H29. 11. 25	校区協議会の必要性について、委員内の認識の共有、意思統一 を図る。 （グラフィックファシリテーターの活用）
コアメンバー 会議 H30. 4. 23	コアメンバーにて今後の方向性を検討する。
第 8 回検討会 H30. 5. 23	校区協議会の必要性について、委員内の認識の共有、意思統一 を図る。協議会設立までのスケジュールについて検討。
第 1 回ワーク ショップ H30. 7. 17	委員 17 名より一緒に活動したいメンバーを推薦。 結果 42 名が参加し、「校区協議会だからできること」につい て意見交換を行う。
第 2 回ワーク ショップ H30. 8. 21	大阪市東成区「北中道地域活動協議会」へ参加者 15 名で現地 視察し、先進事例等について意見交換を行う。
第 3 回ワーク ショップ H30. 10. 24	「協議会の目的、ミッション（使命）は何か？」「ルールをど うするか？」について意見交換を行う。
第 4 回ワーク ショップ H30. 12. 4	テーマごとに分かれ、興味のあるテーマでグループを作成し テーマごとに「協議会の役割」「協議会のルール」について意 見交換を行う。

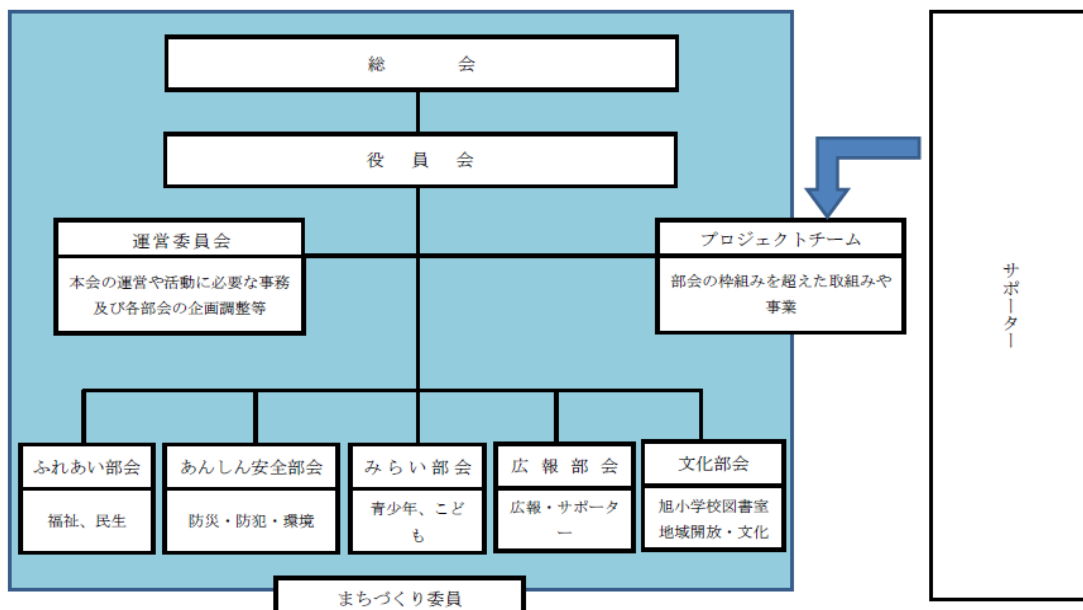
第1回 規約検討会 H31. 1. 16	事務局を担うことになったメンバー6名にて、4回のワークショップで出た意見を踏まえ、協議会の規約を検討する。
第2回 規約検討会 H31. 1. 24	おもに組織体制について検討する。
第3回 規約検討会 H31. 2. 7	おもに組織体制について検討する。
第4回 規約検討会 H31. 2. 22	会計、会の名称、多目的室の運営方法等について検討する。
第5回 規約検討会 H31. 3. 5	規約全体のまとめ。最終確認。



《設立総会》



《旭校区まちづくり協議会ロゴ》



《組織図》

人材の育成（第14条）

▶講演会・セミナーの開催（継続）

市民及び職員を対象に市民協働の意識の啓発・醸成・地域人材育成の第一歩として市民協働に関する講座を実施。

【令和元年度実績（予定含む）】

事業名	場所	日時	題目	定員
地域創生リーダー育成研修（計3回）	市役所3階大会議室	8月8日 10月3日 11月8日 18時～	「地域創生 成功の方程式～『五感六育』の実現～」	各会 60
地域活性化セミナー（3月予定）	テクスピア大阪4階402会議室	3月11日 19時～20時半	『情報発信広報力を高めよう』	60

▶職員研修（継続）

【令和元年度実績】

事業名	場所	日時	題目	参加人数
新たな市民協働に向けた地域創生リーダー育成研修（計6回）（現地視察含む）（継続）	市役所3階大会議室外	7月11・12日 8月8・9日 8月28・29日 10月3・4日 10月10・11日 11月8・9日	「地域課題を地域一体となり解決できるまちに！」 「自分たちのチカラでできる『ひと育て』『まち育て』」	12

▶がんばる市民公益活動応援補助金（人材育成支援制度）

地域リーダーなどの地域で活躍できる人材を育成するため公益活動団体が自ら全国の先進的な取り組み等を学ぼうとする場合等に要する費用の一部を補助する。

人材育成支援補助	もっと自分たちの活動を伝えよう連続講座 (100,000円)	基本的な広報にかかる技術的なことを習得することにより各団体の広報機能のレベルアップを目指すための講座を開催する。	NPO法人いずみおおつ市民活動ネット
	【絵本ひろば】を学ぼう (98,500円)	「読書量日本一」を目指す泉大津市では、「絵本ひろば」の普及が必要不可欠であり、多くの方に「絵本ひろば」の理念を知ってもらい関わり手を増やすこと、また、読書の楽しみを広め子どもたちの居場所づくりに寄与することを目的に講演会を開催する。	絵本の会ぽっかぽか

令和2年度の主な取組み

事業名	がんばる市民公益活動応援補助金事業（制度改正）（案）
事業の実施予定時期	令和2年4月～
事業の趣旨・目的	<p>市民の自発的な特定非営利活動を支援することにより、市民活動を活発化し、泉大津市内が元気な市民活動であふれ、市民主体のまちづくりの進展に寄与することを目的に、市民活動団体が行う公益的な事業に要する経費の一部を補助する。</p> <p>この事業は平成21年度に創設されてから、社会情勢に見合った制度の見直しを行っており、令和2年度は、旭校区まちづくり協議会が設立されたことを受け「校区協議会活性化事業補助金」として校区協議会が実施する事業に対して補助が可能となるよう拡充し、更なる補助金活用の活性化を目指す。</p>
制度の概要	<p>制度の種類</p> <p>(1) 自立促進支援事業補助金 立上期における市民活動の自立を図る目的で実施。 設立5年未満の団体が補助対象。 対象事業は、市民活動団体の設立や活動準備に要する事業、市民活動団体の運営に要する事業及び、具体的な市民活動に要する事業。 補助期間は最長5か年。 <u>⇒現行のまま実施</u></p> <p>(2) 公益活動活性化補助金 市民活動の活性化、団体の自立強化、市民理解の増進を図る目的で実施。 設立3年以上の団体が補助対象。 対象事業は、団体の運営または自立の強化に要する事業 継続的な市民活動の推進に要する事業及び、団体が取り組む活動に対する市民理解の推進に関する事業。 地域コミュニティの活性化に資する事業。 補助期間は同一事業につき最長2年まで。 団体設立要件はなし。 <u>⇒現行のまま実施</u></p>

(3) 人材育成事業補助金

地域リーダーなどの地域で活躍できる人材を育成する目的で実施。

対象事業は、

- ①研修等の開催に関する事業（啓発事業）
- ②活動または事業への指導及び助言を得るための専門家招へいに関する事業（専門家招へい事業）
- ③活動または事業の企画立案のための調査研究に関する事業（調査研究事業）
- ④専門的な知識及び技能の習得のための講習会などの開催に関する事業（能力開発事業）

以上4点のいずれかに該当し、かつ補助対象団体が新たに行う事業。

補助期間は同一事業につき最長3年まで。

(4) 校区協議会活性化事業補助金《新設》

地域関わる各種団体が参画し、市内小学校区を単位として排他的に結成された校区協議会が実施する事業が対象。

設立後5年未満の校区協議会が補助対象。

補助期間は継続3か年。

当補助金が創設されることにより、旭校区以外の校区協議会が自主的に設立される支援となることを期待する。